



平成29年度大津町社会福祉協議会非常勤職員募集

番号	職種	募集人員	勤務日	勤務時間	資格	社歴	履歴	備考
1	登録ホームヘルパー	若干名	月～土のうち希望する曜日	8:30～17:30のうち希望する時間帯	介護職員初任者研修以上修了者 普通自動車運転免許	無	無	1ヶ月ごとに雇用期間更新有

- 申込時間 午前9時～午後5時30分(日曜日を除く)
- 雇用開始 平成29年9月を予定
- 申込方法 履歴書を本人が社協へ持参してください。
- その他 申込みは随時受け付けし、随時面接試験を実施する予定です。
応募状況次第で募集を締め切ることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 申込問合せ 大津町社会福祉協議会 総務係 ☎ (293)2027

ひとりで悩んでいませんか? 心配ごと相談

- 日時 毎週火曜日 午後1時～午後4時
- 場所 老人福祉センター内相談室

心配ごと相談は、町民の皆さまの日常生活上の様々な悩みや困りごとの相談窓口です。相談員がお困りごとを丁寧にお伺いし、適切な助言や専門の関係機関のご紹介などをいたします。相談員は民生児童委員や学識経験者が務めております。相談は無料で、秘密は厳守いたします。どうぞお気軽にご相談ください。
 [参考]6月の相談は2名13件でした。



7月・8月の相談日

7月 18日(火) 25日(火)

8月 1日(火) 8日(火) 15日(火)

大津町介護予防型ミニデイふれあい

きてみてミニデイ Vol.7

「介護予防ミニデイふれあい事業」…各地域の公民館・集会所等で行う介護予防と地域住民の交流を目的とした事業です。本会が大津町の委託を受け、現在23地区で実施しております。



- 開催日 毎月第4木曜日
- 会場 老人福祉センター
- 参加人数 20名
- 平均年齢 82.4歳
- ミニデイ歴 17年
- 指導員からの一言

春にはちらし寿司会、冬にはだご汁会など独自の行事もあり、皆さんと季節を感じながら楽しいひと時を過ごしています。

中学通り

社会福祉協議会へいただきました
 浄財は、皆様の「ご意思」にたがいますよう
 有意義に活用させていただきます。
 誠にありがとうございます。

お菓子 金馬車大津店様
 在宅福祉サービス利用者へ払い出し

大津善意銀行

小松 恵美子様 大林
 西岡 サヨ子様 大津
 恵美子様 大津

賛助会費

会長 岡崎 晃子様
 民生委員児童委員協議会

金一封 山口県長門市日置地区

一般寄付

金一封 河野 引水
 金一封 永吉 陣内
 金一封 樋口 大津
 金一封 杉水 大津
 金一封 宮崎 吹田
 金一封 原山 大津
 金一封 齋藤 吹田
 金一封 本田 吹田
 金一封 古庄 吹田
 金一封 大村 吹田
 金一封 西本 吹田
 金一封 渡辺 吹田
 金一封 吉良 吹田

香典返し

6月1日～6月30日受付分
 香典返し 矢護川 美咲野



事業報告書・決算書の詳細は、大津町老人福祉センターにて閲覧できます。

平成28年度は、年度当初に熊本地震が発生し、平時の事業に加え、被災者支援にも力を入れ事業を展開しました。本会が管理運営する老人福祉センターでは、発災直後から204日間にわたり指定避難所・福祉避難所を開設。また、被災者の在宅への復興支援として災害ボランティアセンター、仮設住宅等の被災者を支援する地域支え合いセンターを開設し、現在も支援を続けています。町や県の枠を超えて、ご支援くださいました方々との繋がりを財産に、これからも地域の皆さまの「ふだんのくらしのしあわせ」のために邁進していきます。

1 社会福祉を目的とする事業の企画・実施

- ① 地域福祉関係
 - 小地域福祉活動実践地区 13地区
 - 小地域福祉活動推進地区 2地区
 - 地域福祉推進委員の委嘱 43地区73名
 - 地域福祉推進活動(説明会等) 6回
 - 小地域福祉座談会開催 8回
 - 小地域福祉活動地区への支援 11回
 - 視察研修受入・その他地域支援 6回
- ② 老人福祉関係
 - 敬老会奨励補助金 18地区958名
 - 一人暮らし高齢者鏡餅配布(民協と協働)594名
 - 高齢者料理教室 9名
 - もしもし電話サービス 延べ利用1065名
- ③ ひとり親(母子父子)家庭福祉関係
 - ひとり親だけ交流会 6家族14名
 - ひとりだけの金婚式 2名
- ④ 心身障がい者福祉関係
 - ふれあいバスハイキング 10家族17名
- ⑤ 福祉啓発関係
 - 福祉まつり 来場者4000名
 - 地域福祉推進懇談会 152名
 - ふれあいサロン推進事業 補助6地区
 - 在宅介護者の集い 2回延べ20名
 - 在宅介護者のサロン野ばら 3回延べ6名
- ⑥ 法外援護救済関係
 - 行旅病人等旅費 該当者3名

2 社会福祉活動への住民参加のための援助

- ① ボランティアセンター
 - ボランティア協力校指定 12校
 - ボランティア養成講座 3講座6回37名
 - ボランティア受給調整 相談9件、登録10件、援助8件、活動保険加入795名、行事用保険加入27件、送迎サービス保険加入1件、福祉サービス総合補償加入1件
 - 各種ボランティアサービス2種延べ利用12名
 - 収集ボランティアへの協力 5種 15名・14団体
 - ボランティア連絡協議会への協力
- ② 青少年福祉関係
 - ワークキャンプ(受入協力23施設) 61名
 - 福祉教育 福祉講話協力 4回390名
- ③ 善意銀行設置・運営 物品預託 10件 払出10件

3 社会福祉に関する調査・普及・宣伝・連絡・調整・助成

- ① 調査広報
 - 介護保険認定者、65歳以上介護認定、障がい手帳保持者、生活保護世帯、ひとり親(母子父子等)世帯、ひとり暮らし高齢者世帯、高齢者夫婦世帯の調査、地区別高齢化率調査、「ふれあいネットワーク通信」発行 毎月全戸配布、ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックの運営
- ② 各種福祉団体助成6団体
 - 身体障がい者福祉会、老人クラブ連合会、更生保護女性会、母子寡婦福祉連合会、民生児童委員協議会、ボランティア連絡協議会
- ③ 介護用品等無料貸出 貸出総件数 50件

4 社会福祉事業の健全な発達のために必要な事業

- ① 役員会等
 - 理事会 5回、評議員会 6回
 - 定期監査 1回、資産変更登記 1回、定款変更 1回(社会福祉法一部改正)
- ② 実習受入
 - 4団体8名(延べ82日)
- ③ 職員研修・会議等
 - 職員研修・ミーティング 定例：月1回、臨時：随時
 - 職員全体研修 7回
- ④ 各種団体事業への協力
 - からいもフェスティバル、民協定例会、地域ケア会議、青少年育成町民会議、老連(会長会、女性部会、シルバーヘルパー)
 - 社明運動等、各種NPO法人の支援
- ⑤ 生活福祉資金貸付事業 熊本県社協受託事業
 - 貸付申込 1件、貸付 1件、相談 493件
- ⑥ 各種募金活動への協力
 - 日本赤十字社熊本支部大津町分区分
 - 社費実績 3733318円(目標比96.2%)
 - 熊本県共同募金会大津町分会
 - 募金実績 5593081円(目標比103.2%)

大津町受託事業関係

- ① 老人福祉センター管理経営
 - 延べ利用19741名、開館359日(うち、指定避難所開設204日間)
- ② 食の自立支援事業
 - 延べ利用6448名、実施303日
- ③ 高齢者ホームサポート事業
 - 延べ利用1703名、派遣1703時間
- ④ 介護予防はつらつ元気づくり事業
 - 延べ利用4690名、実施284日
- ⑤ 介護予防型ミニデイふれあい事業
 - 延べ利用2403名、実施235日、23地区
- ⑥ 心配ごと相談事業
 - 相談143件、実施54日、相談員10名
- ⑦ 地域支え合いセンター事業
 - 支援実施 延べ258名・1766回
 - サロン等延べ205回1280名

介護保険事業関係

- ① 居宅介護支援事業
 - 居宅介護支援 延べ利用 663名
 - 介護予防支援 延べ利用 135名
- ② 訪問介護事業
 - 訪問介護 延べ利用 4092名
 - 予防訪問介護 延べ利用 469名
 - 総合事業みなし訪問介護 延べ利用 757名
- ③ 通所介護事業
 - 通所介護 延べ利用 4689名
 - 予防通所介護 延べ利用 668名
 - 総合事業みなし通所介護 延べ利用 918名

障害者居宅介護事業関係

- ① 障害者居宅介護事業
 - 居宅介護 延べ利用 2592名
 - 同行援護 延べ利用 180名
 - 移動支援 延べ利用 62名



地域支え合いセンター事業



在宅介護者の集い



高齢者料理教室



地域福祉推進懇談会



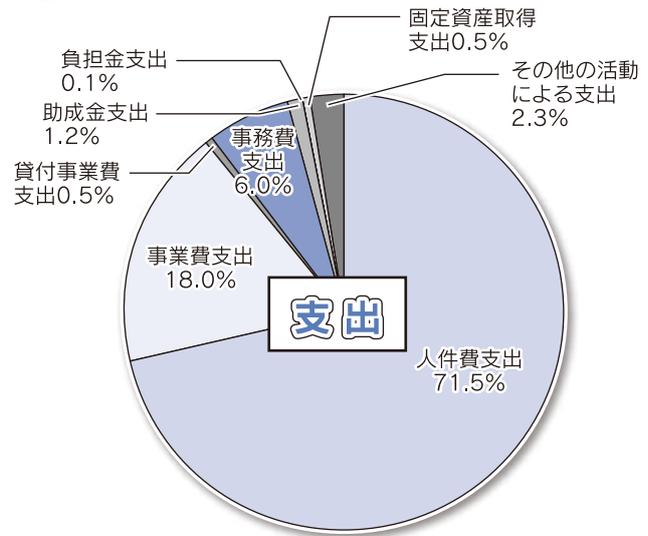
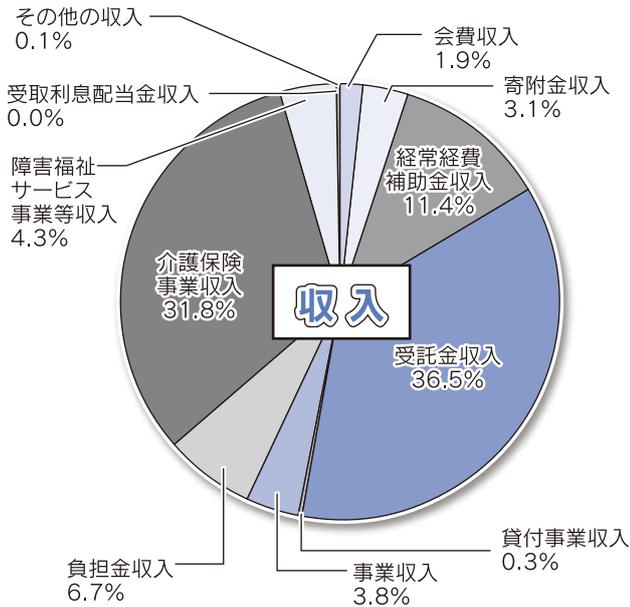
第18回福祉まつり



介護予防ミニデイふれあい事業

社会福祉法人 大津町社会福祉協議会

平成28年度決算報告



収入

(単位:円)

会費収入	3,893,500
寄附金収入	6,362,568
経常経費補助金収入	23,642,014
受託金収入	75,781,596
貸付事業収入	725,000
事業収入	7,989,995
負担金収入	13,824,935
介護保険事業収入	66,128,761
障害福祉サービス事業等収入	9,030,970
受取利息配当金収入	15,377
その他の収入	257,078
収入合計	207,651,794

次年度繰越金

5,445,076

支出

(単位:円)

人件費支出	144,501,017
事業費支出	36,387,559
事務費支出	12,062,872
貸付事業費支出	990,000
助成金支出	2,398,200
負担金支出	165,800
固定資産取得支出	1,059,480
その他の活動による支出	4,641,790
支出合計	202,206,718

平成28年度 貸借対照表(平成29年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債・純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	90,219,875	流動負債	10,586,376
現金預金	52,803,954	事業未払金	10,084,783
事業未収金	35,492,231	職員預り金	501,593
未収補助金	1,822,848	固定負債	53,525,810
前払費用	100,842	負債の部合計	64,112,186
固定資産	121,609,181	基本金	1,000,000
基本財産	1,000,000	その他の積立金	60,360,000
その他の固定資産	120,609,181	次期繰越活動増減差額	86,356,870
資産の部合計	211,829,056	純資産の部合計	147,716,870
		負債及び純資産の部合計	211,829,056

自分と、身の周りの大切な人たちを守るため…

日本赤十字社は、「人命を救う方法」や「健康で安全に暮らすための知識・技術」を多くの方々へ伝えるために様々な講習会を実施しています。大津町分区では、町民の皆さまに日赤会費をお願いする赤十字運動月間に合わせ、下記の講習会を実施しました。講習会の資材購入等に日赤の会費の一部が活用されています。

■赤十字幼児安全法講習会

6月16日(金)大津町老人福祉センターにて幼児安全法講習会を行い、幼児に起こりやすい病気や事故の応急手当や心肺蘇生法の知識、技術を学びました。教本を使つての講習に加え、ハンカチやストッキングを使用した止血方法、AEDの使用法について実技を交えて進められました。子どもが怪我や病気をしたときは、気が動転しがちですが、「知っていること」で対応に大きな差が出ます。講師の田上実さんは、「コップ一杯分の水の量があれば、子どもは重大な事故を起こし得ます。これからの季節、自宅の庭先やベランダで水遊びをする際は決して目を離さず、簡易プール等は終わったら必ず水を抜いてください」と注意を促し、「子どもの起こす事故や怪我は、生活空間を整理整頓するなど大人が気を付けることで予防できることがあります」と予防することの大切さをお話してくださいました。



外出時にハンカチを一枚携帯することで、止血や患部の固定等に役立ちます。

胸骨圧迫(心臓マッサージ)は強く、早く、絶え間なく!人口呼吸と交互に行います。

AEDは魔法の機械ではありません。患者に正しく装着させることで、電気ショックが必要か否かを解析します。



▲講師の田上実さん

■日赤会費の募集について

平成 29 年度実績額 2,774,500円 (平成 29 年 7 月 5 日現在)

上記金額は全額日本赤十字社熊本県支部へ送金いたします。ご協力いただきありがとうございました。なお、まだ納入がお済でないところについては、各地区にてご確認をお願いいたします。



あなたのまちの ボランティアセンター

問い合わせ先 ☎ 096(293)2027

大津町ボランティア連絡協議会 総会

6月3日、大津町ボランティア連絡協議会(以下、ボラ連)の総会が行われました。

ボラ連では地震前から災害ボランティアセンターの設置訓練などに取り組まれていたこともあり、熊本地震を受けて設置された災害ボランティアセンターの活動、運営に長期にわたりご協力いただきました。また、会員さんもそれぞれの地域で「自分にできることを」と活動を続けてこられたことが、復旧・復興への大きな力となりました。

総会では、オープニングアクトとして会員の「トキロロ」さんによるリコーダー演奏が披露され、参加者も来賓の皆さまも和やかなムードで会がスタートしました。素敵な演奏をありがとうございました。

今年度のボラ連は、「それぞれのボランティア活動を具体的にサポート出来るボラ連づくりに踏み出そう!」という方針のもと、会員の活動の支援体制をつくり、また、ボランティア活動を推進する交流やイベントを計画されています。

ボランティアセンターもボラ連と連携し、ボランティアさんの活動をサポートしていきます。ボランティアに関するお問い合わせ、ボラ連へのご加入につきましてもお気軽におたずねください。



食の自立支援事業 配食ボランティアさん募集しています!

- 活動時間 午前11時 ~ 正午の1時間程度
- 活動日 月曜日~土曜日の
いずれか都合のよい曜日を選んでください。
- 電話 096-293-2027

大津町老人福祉センターから町内の高齢者等のお宅へお弁当を配達します。

配食サービスは、利用者の栄養改善と見守りを目的としています。

配達先でのちょっとした会話や活動者同士の交流がとても魅力的な活動ですよ!



大津町ボランティアセンター+I (ぶらす愛)

本会では、昨年の震災で被災された高齢者や障がい者の世帯などから、原状回復や室内の片付け、被災財(がれき)の運び出しなどのご相談を受け、町内外のボランティアさんのご協力で、被災された方のお宅のお手伝いを続けています。復旧、復興が進む中で、仮設住宅の入居・退去の際の家財の移動、住家の解体・修復に伴う片付けなどでお困りの際はご相談ください。

- 受付時間 午前9時~午後5時
- 電話 096(293)2027
- お願い

ボランティアさんも募集しています!
お気軽にお問い合わせください!

ボランティアの活動内容には限りがあり、ご要望に添えない場合もございます。その際は、内容に応じて専門家へご相談いただきますよう、お願いいたします。

6月までに693件のニーズに対応し、3,572名のボランティアさんが活動されました